

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

有識者・専門家等の意見

1-①

7月・8月と人出が多くなる季節、オリンピックもあることから、もうしばらく我慢が必要。

札幌市内の高齢施設のワクチン接種が7月には終了できそうであり、それまでは、厳しい措置でリバウンドを防ぐべき。

1-②

道職員を招いて、職域接種に関するオンライン説明会を開催した。職域接種に関する理解を深める一助となったところであり、協力に感謝。

職域接種に関しては、昨日、政府から申請受付の休止が示されるなど、今後の状況が流動的であるが、道においては、今後ともタイムリーな情報提供と企業への支援をお願いしたい。

1-③

緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行したことにより、飲食店等の営業が拡大し、人流の活発化も予想される。感染再拡大の兆しが見られた場合には速やかに必要な手立てを講じる必要がある。

1-④

道民の協力により、新規陽性者数は減少傾向にある。一方で10代、20～30代の割合、リンクなしの割合がやや増加傾向にあり、その後感染者数が増えてくるパターンが今までも見られたことがあるため、引き続き、感染対策の呼びかけをお願いしたい。

飲食店の時短要請により、むしろ短時間に客が密になる状況を生じていないか、注意が必要。人数を抑えること、飛沫が飛ぶ機会をできるだけ減らすことなどの注意喚起をお願いしたい。

経済活動に大きく関与し、また活動範囲の広い若い世代へのワクチン接種が急がれる。現状では、職域接種で対応せざるを得ないため、各地域で小中規模の事業所であっても共同して集団接種を行うなどの取組に、道として支援いただきたい。接種機会の増加により、キャンセルや予約が埋まらないなど、ワクチンが無駄になることを避ける工夫も必要。

五輪開催が迫ってきているが、医療体制を含め、ボランティアの健康、道民の健康に影響が出ないような開催をお願いしたい。

1-⑤

検査の陽性率が1.9%と減少しており、状況は改善している。

ワクチン接種が、全国平均に追いつくようスピードを上げて欲しい。

1-⑥

順調にワクチン接種数が伸びてきているので、遅れを取り戻すためにも、引き続き対策の継続をお願いしたい。